

「阿見町地域公共交通計画」の策定進捗状況について

- ・地域公共交通計画策定に向けて
- ・公共交通に係る調査の実施結果概要

令和4年2月

阿見町地域公共交通活性化協議会

地域公共交通計画策定に向けて-1

地域の移動資源をまちづくりに最大限に活かすことを念頭に置いた「地域公共交通計画」の策定が、全国の自治体に対して努力義務化されました。

《これまでの経緯》

これまで全国の地方自治体では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年10月施行)」(以下、活性化再生法と記載)に基づき、「地域公共交通総合連携計画」を策定、平成26年の改正により「地域公共交通網形成計画」を策定を通じ、地域公共交通の維持・確保や利便性向上に取り組んできました。

活性化再生法の法改正が令和2年6月に公布、11月に施行されたことを受け、各自治体における公共交通のマスタープランとなる「地域公共交通計画」の作成が努力義務化されました。

◆地域公共交通計画とは

- ・地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。
- ・国が定める「地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本方針」に基づき、関係者を集めて「活性化再生法に基づく協議会」を開催しつつ、交通事業者や地域の関係者等との個別協議を重ねることで作成していくものです。
- ・地域公共交通計画においては、バスやタクシーといった既存の公共交通サービスを最大限活用した上で、必要に応じて自家用有償旅客運送やスクールバス、福祉輸送、病院・商業施設・宿泊施設・企業などの地域の多様な輸送資源についても最大限活用する取組を盛り込むことで、持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保することを求めています。
- ・その際、交通系 IC カード等によるキャッシュレス化、Wi-Fiの整備といった最新の技術や、更には MaaS(マース:Mobility as a Service)、AI(人工知能:Artificial Intelligence)による配車、自動運転などの技術も最大限活用して生産性を向上しつつ、地域の高齢者はもとより、外国人旅行者も含めた幅広い利用者にとって使いやすいサービスが提供されることが必要です。
- ・このように、地域公共交通計画は、地域の社会・経済の基盤となるものです。そのため、基本的に全ての地方公共団体において、計画の作成や実施を「努力義務」として定めています。

国土交通省の基本的な考え方

人口減少や労働力不足が本格化する地方における移動手段の確保を図るため、国土交通省では、以下の考え方で対応していくこととしている。

- ① 地域ごとに、バス・タクシーの労働力確保とサービス維持を図りながら、サービスが不足する地域では、その他の移動手段を総動員して移動ニーズに対応する。
- ② その際、MaaS、AIによる配車、自動運転などの最新技術を活用して、高齢者や外国人旅行者を含む幅広い利用者に使いやすいサービスの提供を促進する。
- ③ ①と②について、地方公共団体が中心となって取り組める制度を充実・強化していく。

「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」との関わり

多くの自治体は、デマンド交通等、地域の実状に応じた生活交通を維持するため、運行を支援する国庫補助金を活用しています。現在は「地域内フィーダー系統確保維持計画」の策定が補助の要件ですが、令和2年度の制度改正により「地域公共交通計画」を策定していることが必須となりました。（経過措置として、令和7年度補助申請までに策定することとなっている。）

したがって、デマンド交通等の維持のため、「地域公共交通計画」の策定は欠かせないものとなります。

地域旅客運送サービス

公共交通機関



鉄軌道



路線バス



旅客船



コミュニティバス



デマンド交通



乗用タクシー



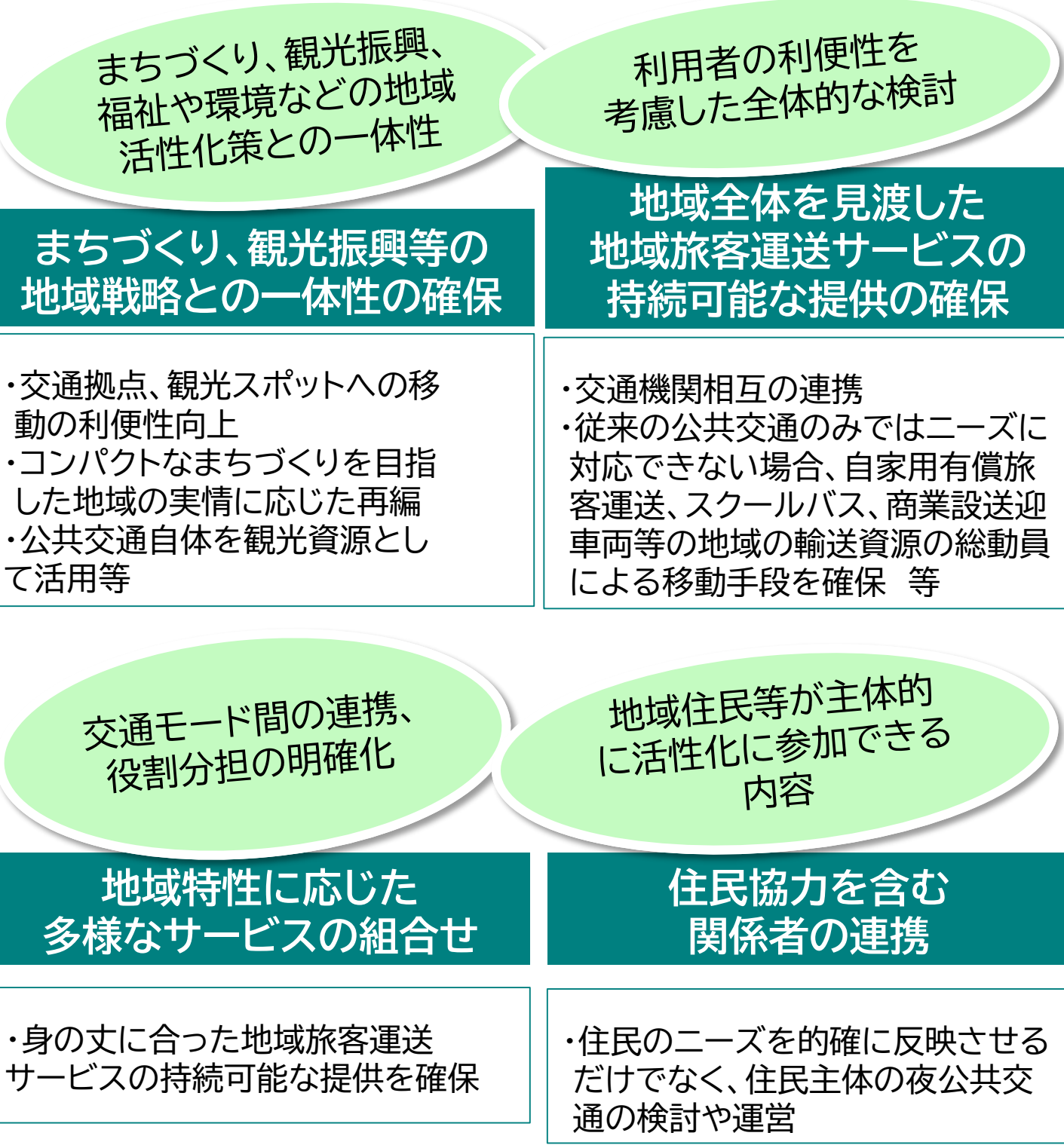
自家用有償
旅客運送



福祉輸送、スクールバス、
病院・商業施設等の
送迎サービスなど



■ 基本的な方針を定めるうえでの主な留意点



計画策定に向け、R3年度は阿見町の公共交通の実態把握を実施。調査結果を次頁以降に記載

阿見町の公共交通に係る調査結果

調査結果-1 路線バス利用に関するアンケート調査 結果概要

休日の調査結果

路線バスの利用者を対象に、利用特性(利用目的・利用頻度等)や、運行サービスに対する満足度を把握するため、アンケート調査を実施した。

アンケート日時:休日 令和3年11月6日(土)/平日 令和3年11月9日(火) 7時~19時

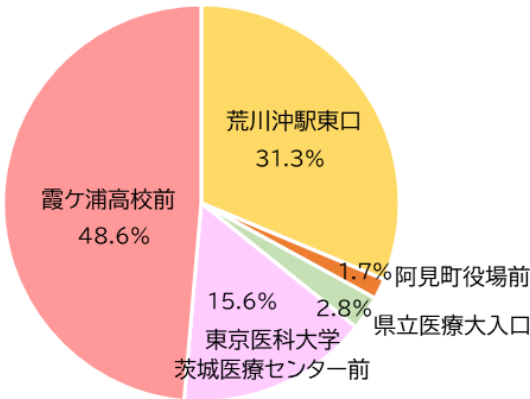
調査方法・調査対象:阿見町内の主要5箇所のバス停にてアンケートを実施した。
乗車する利用者のみを対象とした。

調査実施バス停:①荒川沖駅東口、②阿見町役場前、③県立医療大入口、
④東京医科大学茨城医療センター前、⑤霞ヶ浦高校前

回答数:休日 179票/平日 206票 2日間計385票

・地点別回答者数

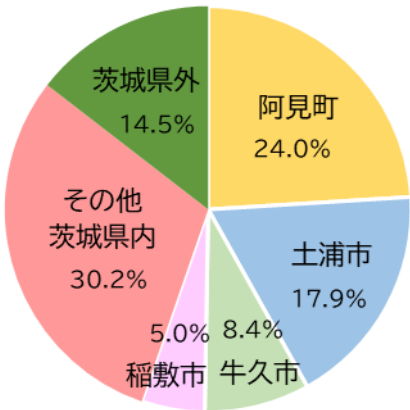
選択肢		回答数	割合
1	荒川沖駅東口	56	31.3%
2	阿見町役場前	3	1.7%
3	県立医療大入口	5	2.8%
4	東京医科大学茨城医療センター前	28	15.6%
5	霞ヶ浦高校前	87	48.6%
合計		179	100.0%



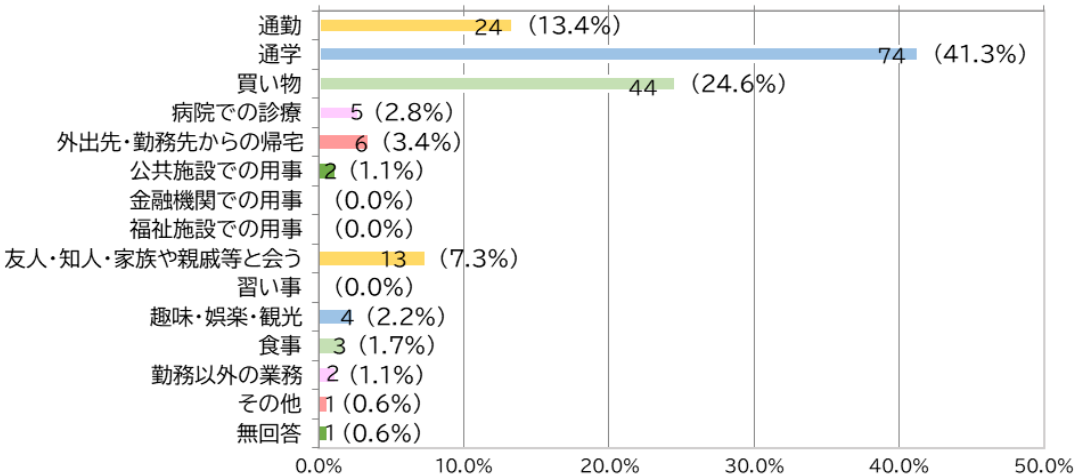
・回答者の住まいと年齢

選択肢		回答数	割合
1	阿見町	43	24.0%
2	土浦市	32	17.9%
3	牛久市	15	8.4%
4	稲敷市	9	5.0%
5	その他茨城県内	54	30.2%
6	茨城県外	26	14.5%
	合計	179	100.0%

選択肢		回答数	割合
1	10歳代	84	46.9%
2	20歳代	31	17.3%
3	30歳代	13	7.3%
4	40歳代	11	6.1%
5	50歳代	15	8.4%
6	60歳代	6	3.4%
7	70歳代	12	6.7%
8	80歳代	5	2.8%
	合計	179	100.0%



・本日の外出目的



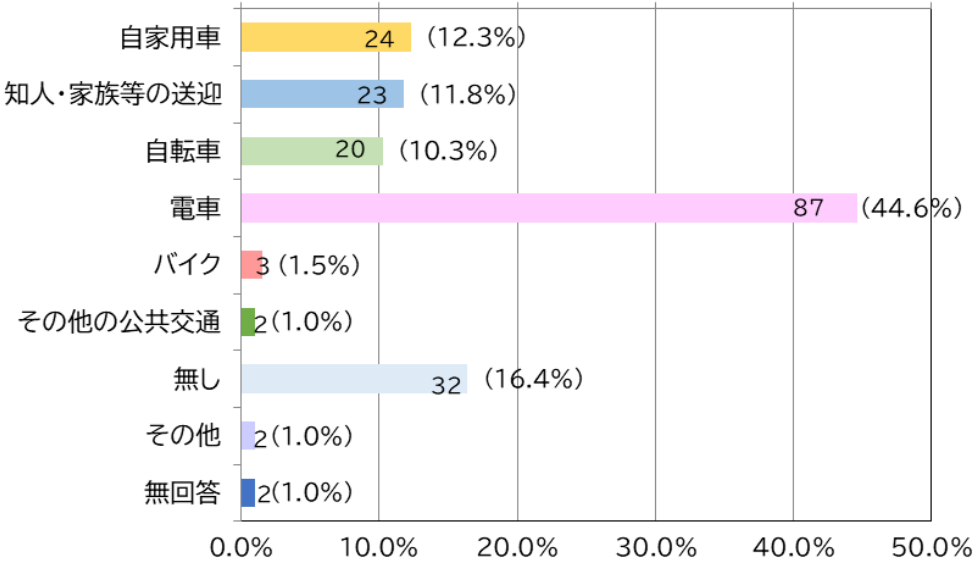
・本日バスを利用する理由と利用頻度、運賃支払い方法

選択肢		回答数	割合
1	自宅の近くにバス停があるから	34	19.0%
2	目的地までの移動が一番スムーズだから	104	58.1%
3	バス以外に主な移動手段が無いから	36	20.1%
4	その他	3	1.7%
-	無回答	2	1.1%
合計		179	100.0%

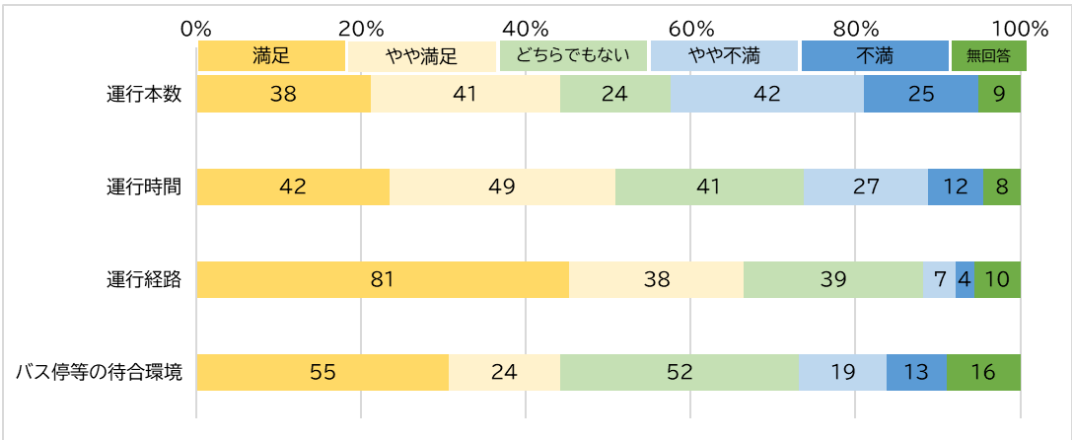
選択肢		回答数	割合
1	ICカード	95	53.1%
2	現金	25	14.0%
3	定期	58	32.4%
4	高齢者福祉バス	1	0.6%
合計		179	100.0%

選択肢		回答数	割合
1	ほぼ毎日	88	49.2%
2	週1日	16	8.9%
3	週2～3日	17	9.5%
4	月数回	29	16.2%
5	年数回	16	8.9%
6	ほとんど利用しない	12	6.7%
-	無回答	1	0.6%
合計		179	100.0%

・本日バス以外に利用する移動手段(複数選択)



・バスの運行に関する満足度

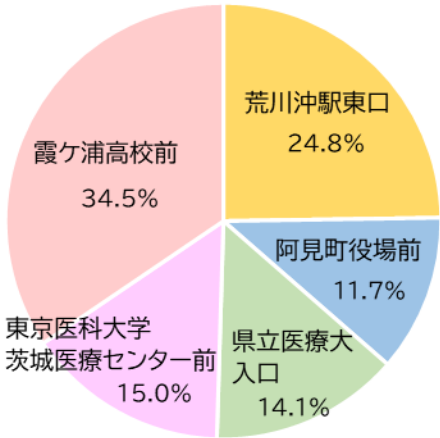


※グラフ内の数値は回答数

平日の調査結果

・地点別回答者数

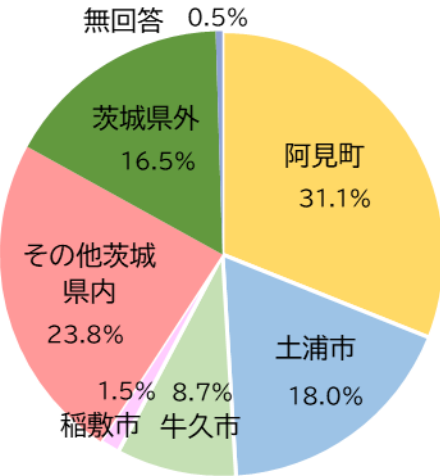
選択肢		回答数	割合
1	荒川沖駅東口	51	24.8%
2	阿見町役場前	24	11.7%
3	県立医療大入口	29	14.1%
4	東京医科大学茨城医療センター前	31	15.0%
5	霞ヶ浦高校前	71	34.5%
合計		206	100.0%



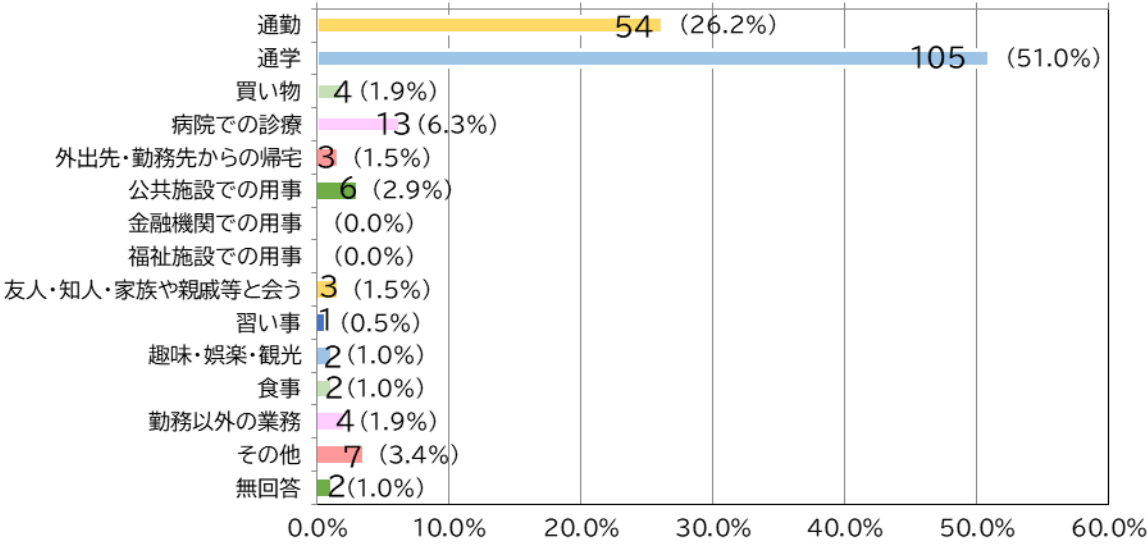
・回答者の住まいと年齢

選択肢		回答数	割合
1	阿見町	64	31.1%
2	土浦市	37	18.0%
3	牛久市	18	8.7%
4	稲敷市	3	1.5%
5	その他茨城県内	49	23.8%
6	茨城県外	34	16.5%
-	無回答	1	0.5%
合計		206	100.0%

選択肢		回答数	割合
1	10歳代	97	47.1%
2	20歳代	31	15.0%
3	30歳代	19	9.2%
4	40歳代	20	9.7%
5	50歳代	19	9.2%
6	60歳代	7	3.4%
7	70歳代	7	3.4%
8	80歳代	5	2.4%
-	無回答	1	0.5%
	合計	206	100.0%



・本日の外出目的



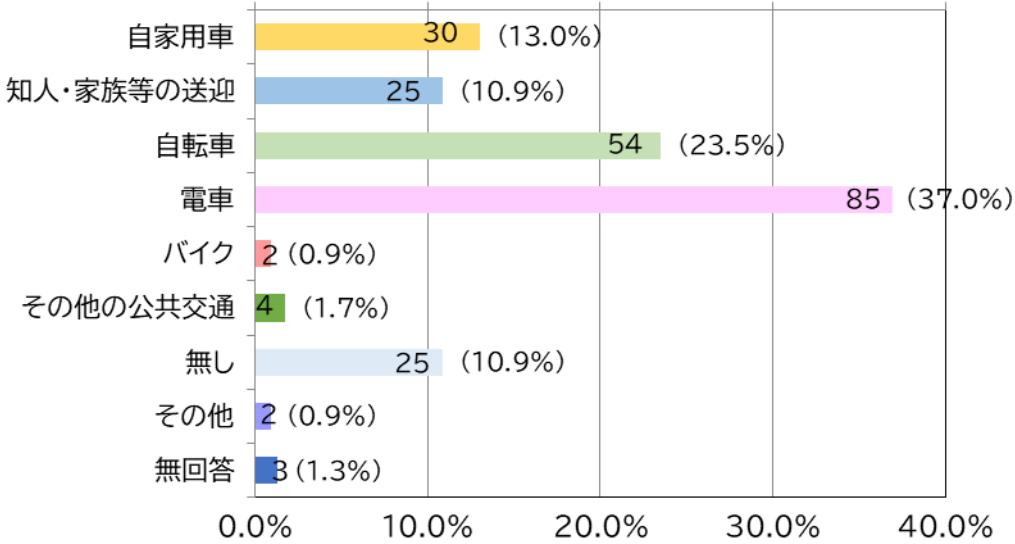
・本日バスを利用する理由と利用頻度、運賃支払い方法

選択肢			回答数	割合
1	自宅の近くにバス停があるから		37	18.0%
2	目的地までの移動が一番スムーズだから		75	36.4%
3	バス以外に主な移動手段が無いから		86	41.7%
4	その他		7	3.4%
-	無回答		1	0.5%
合計			206	100.0%

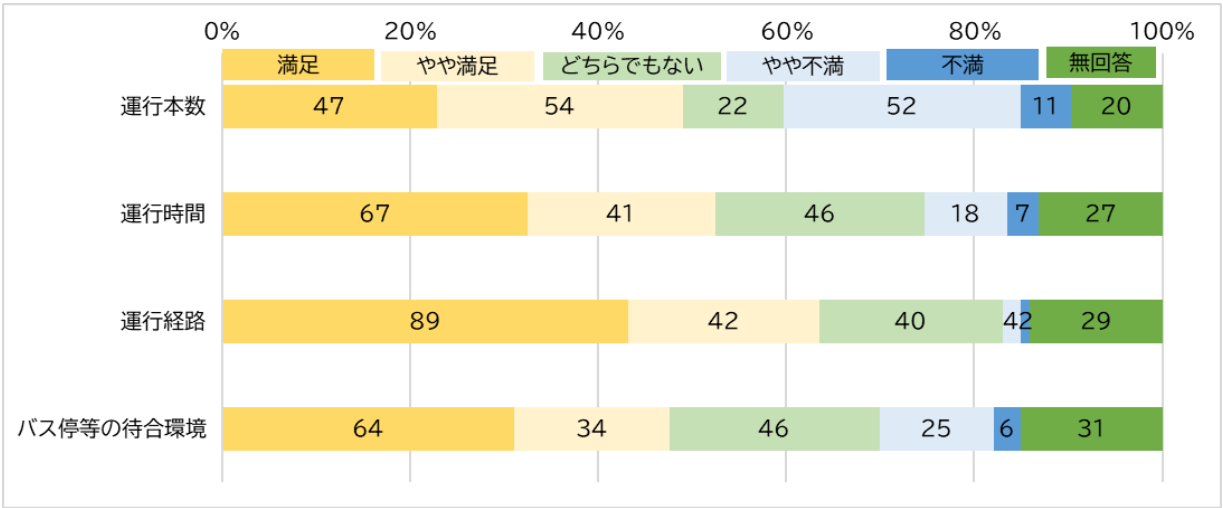
選択肢	回答数	割合
1 ICカード	143	69.4%
2 現金	21	10.2%
3 定期	40	19.4%
4 高齢者福祉パス	1	0.5%
- 無回答	1	0.5%
合計	206	100.0%

選択肢			回答数	割合
1	ほぼ毎日		107	51.9%
2	週1日		12	5.8%
3	週2～3日		29	14.1%
4	月数回		26	12.6%
5	年数回		6	2.9%
6	ほとんど利用しない		23	11.2%
-	無回答		3	1.5%
合計			206	100.0%

・本日バス以外に利用する移動手段(複数選択)



・バスの運行に関する満足度



※グラフ内の数値は回答数

調査結果-2 町民アンケート調査 結果概要

町民2,500人を無作為抽出し、日頃の移動実態、公共交通の利用状況、要望等を把握するため、郵送配布・回収によるアンケート調査を実施した。

アンケート実施期間：令和3年10月1日(金)～10月29日(金)※ポスト投函期限

回答数：969票(回答率：39%)

・回答者の属性

年齢

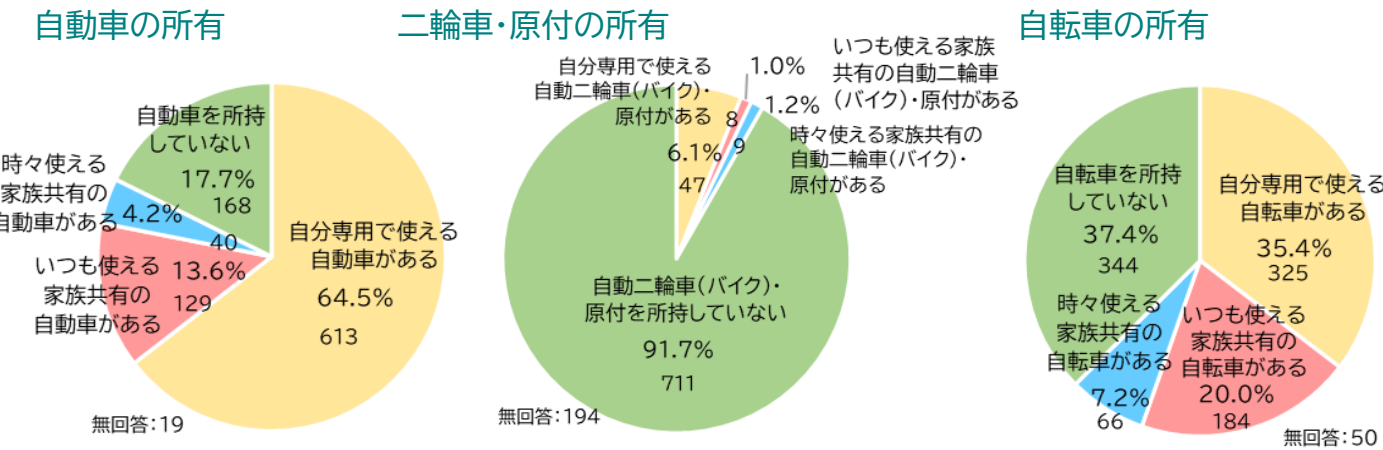
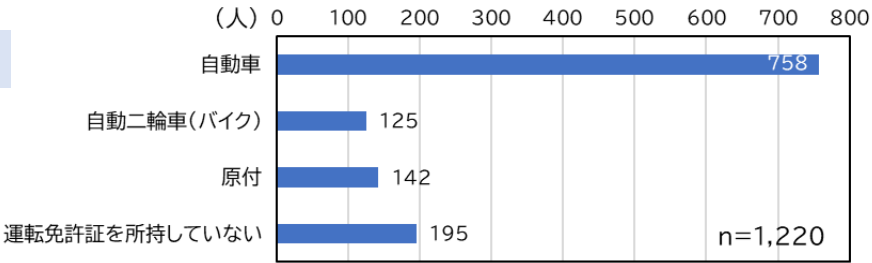
選択肢	回答数	割合
1 10歳代	83	8.6%
2 20歳代	59	6.1%
3 30歳代	86	8.9%
4 40歳代	124	12.9%
5 50歳代	126	13.1%
6 60歳代	159	16.5%
7 70歳代	171	17.8%
8 80歳代	154	16.0%
合計	962	100%
無回答	7	

阿見町居住年数

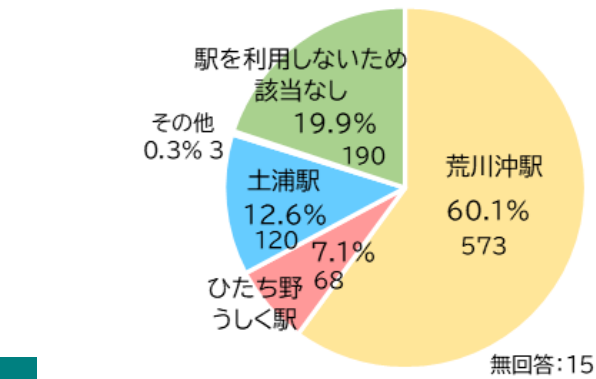
選択肢	回答数	割合
1 5年未満	87	9.1%
2 5～10年未満	57	5.9%
3 10～20年未満	220	22.9%
4 20年以上	595	62.0%
合計	959	100%
無回答	10	

・運転免許証と車両の所有状況

所有している免許証(複数回答)



・最もよく利用する駅と駅までの移動手段



選択肢	回答数	割合
1 自身の運転による自動車	417	51.0%
2 家族の運転による自動車	179	21.9%
3 親戚、友人、知人の運転による自動車	5	0.6%
4 自転車	46	5.6%
5 バイク(原付も含む)	3	0.4%
6 徒歩	82	10.0%
7 路線バス	68	8.3%
8 デマンドタクシー「あみまるくん」	8	1.0%
9 その他	9	1.1%
合計	817	100%
無回答	152	

・普段の外出について

日常的な移動手段

選択肢		回答数	割合
1	自身の運転による自動車	667	69.6%
2	家族の運転による自動車	142	14.8%
3	親戚、友人、知人の運転による自動車	4	0.4%
4	自転車	72	7.5%
5	バイク(原付も含む)	9	0.9%
6	徒歩	27	2.8%
7	路線バス	18	1.9%
8	電車	6	0.6%
9	デマンドタクシー「あみまるくん」	10	1.0%
10	その他	4	0.4%
合計		959	100%
無回答		10	

主な外出先

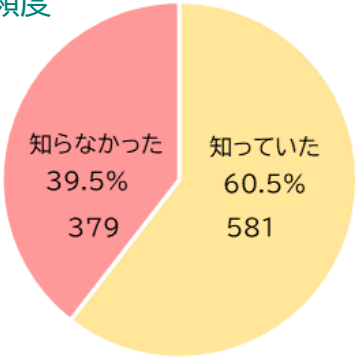
選択肢		回答数	割合
1	勤務先	388	40.8%
2	通学先	73	7.7%
3	病院	99	10.4%
4	福祉施設	5	0.5%
5	公共施設	11	1.2%
6	買物	322	33.9%
7	食事・レジャー	16	1.7%
8	金融機関(銀行・郵便局)	4	0.4%
9	家族・親戚・友人宅への訪問	9	0.9%
10	その他	24	2.5%
合計		951	100%
無回答		18	

主な外出先への外出頻度

選択肢	回答数	割合
1 週5日以上	445	46.9%
2 週3～4日	252	26.6%
3 週1～2日	156	16.4%
4 月2～3日	63	6.6%
5 月1日程度	33	3.5%
合計	949	100%
無回答	20	

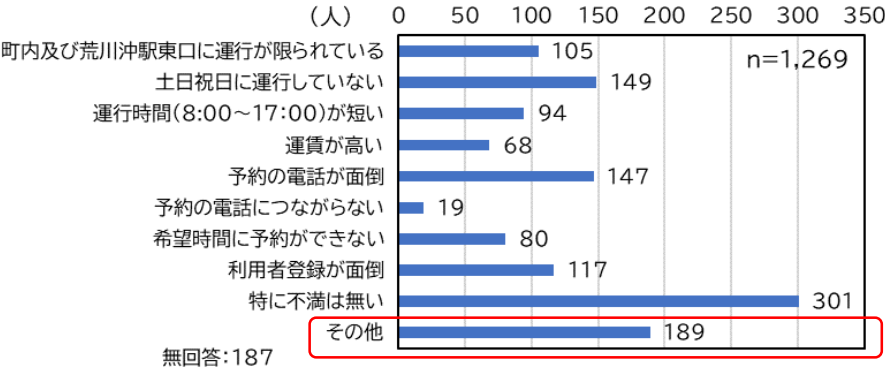
・デマンドタクシー「あみまるくん」について

認知度と利用頻度



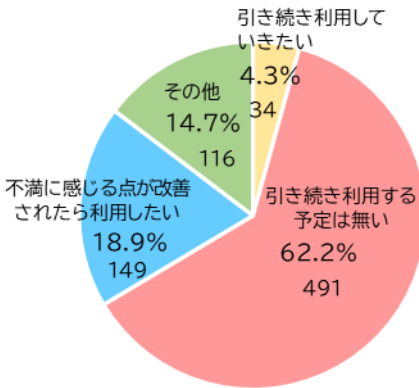
選択肢		回答数	割合
1	全く利用しない	893	96.5%
2	年に数回程度	18	1.9%
3	月に数回程度	11	1.2%
4	週に数回程度	2	0.2%
5	雨天など悪天候時のみ利用する	1	0.1%
合計		925	96%
無回答		44	

「あみまるくん」について不満に感じること(複数選択)



その他の主な意見:
使っていない、使ったことが無い、
知らなかったので回答ができない
(164件)

今後の「あみまるくん」の利用意向



その他の主な意見:
運転できなくなったら利用したい・
免許返納後に利用したい(47件)
利用してみたい・機会があれば利用したい(16件)
高齢になったら利用したい(15件)

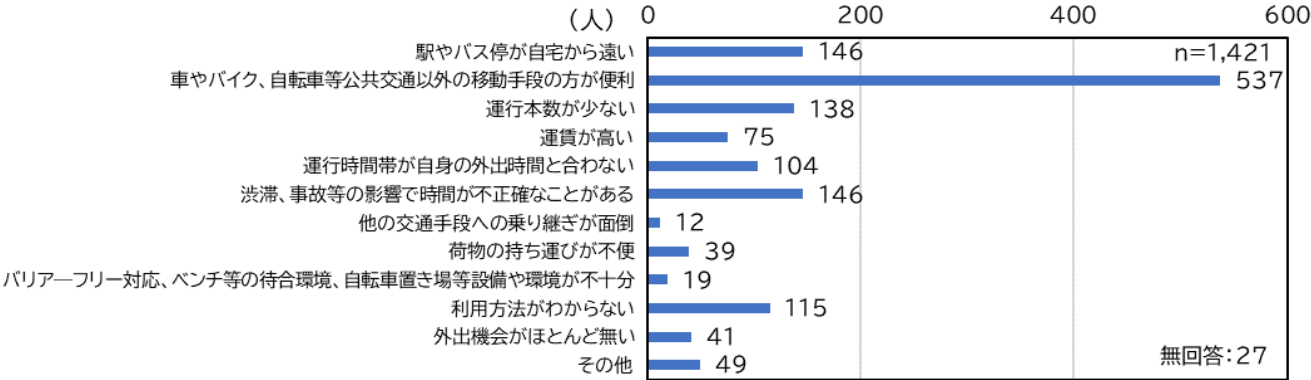
・阿見町の公共交通(路線バス・デマンドタクシー「あみまるくん」)の利用について

公共交通を利用した外出目的と頻度

選択肢		回答数	割合
1	勤務・業務	19	2.5%
2	通学	11	1.5%
3	病院	28	3.7%
4	福祉施設	1	0.1%
5	公共施設での用事	4	0.5%
6	買物	20	2.7%
7	食事・レジャー	8	1.1%
8	金融機関(銀行・郵便局)	4	0.5%
9	家族・親戚・友人宅への訪問	7	0.9%
10	その他	0	0.0%
11	阿見町内の公共交通を利用しないため該当なし	652	86.5%
合計		754	100%

選択肢		回答数	割合
1	週5日以上	26	19.0%
2	週3～4日	14	10.2%
3	週1～2日	22	16.1%
4	月2～3日	28	20.4%
5	月1日程度	47	34.3%
合計		137	100%

公共交通を利用しない理由(複数回答)



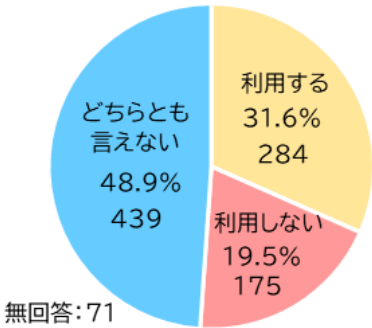
・公共交通への期待

公共交通が充実した際の利用意向

利用したい公共交通乗降場までの距離

選択肢		回答数	割合
1	徒歩3～4分(約300m程度)	446	51.9%
2	徒歩6～7分(約500m程度)	233	27.1%
3	徒歩8～9分(約700m程度)	62	7.2%
4	徒歩10～12分(約1km程度)	84	9.8%
5	その他	35	4.1%
合計		860	

無回答 109



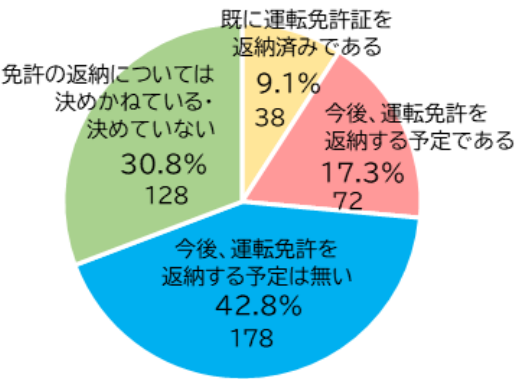
公共交通において重視すること

選択肢		1番	2番	3番	合計	割合
ア	運賃の安さ	169	160	173	502	20.9%
イ	運行本数の多さ	205	253	117	575	23.9%
ウ	目的地までの速さ	29	46	78	153	6.4%
エ	到着時刻の確実性	34	60	59	153	6.4%
オ	乗り継ぎ回数の少なさ	12	52	84	148	6.2%
カ	安全性	48	49	84	181	7.5%
キ	バリアフリーの導入、乗り心地や快適性	4	13	32	49	2.0%
ク	ICカードの支払い、アプリでの予約等、最新技術の導入	14	25	54	93	3.9%
ケ	自宅もしくは自宅付近から利用できること	290	143	116	549	22.8%
合計		805	801	797	2403	100%

無回答 162 166 170

・運転免許証の自主返納について※65歳以上が回答対象

免許返納の意向



返納済および返納予定者の理由

選択肢		回答数	割合
1	安全運転を維持する自信が無くなったため	52	48.1%
2	家族や知人の勧め	17	15.7%
3	車を運転して外出する必要が減ったため	6	5.6%
4	返納後、家族や知人の送迎で外出できるため	15	13.9%
5	返納後、公共交通を利用して外出できるため	11	10.2%
6	その他	7	6.5%
合計		108	100%

返納をしない意向の理由

選択肢		回答数	割合
1	返納した場合、外出時の移動手段が無くなるため	177	50.7%
2	家族や知人の送迎に頼りたくないため、もしくは頼れる人がいないため	10	2.9%
3	公共交通が充実していないと感じるため	37	10.6%
4	日常生活の自由度が低下すると感じるため	100	28.7%
5	その他	25	7.2%
合計		349	100%

まとめ

路線バス利用者アンケート調査

- ・利用目的の上位は「通勤」、「通学」の順であるが、平日は「病院での診療」、休日は「買い物」が3番目に多い目的であった。
- ・運賃支払い方法はICカードが半数以上を占めるが、平日は定期券の利用者も2割程度ある。現金での支払いは、平日・休日ともに1割程度となっている。

町民アンケート調査

- ・自動車の所有率が高く、自分専用および家族共用の自動車を所有している割合も高い。
- ・回答者の6割が荒川駅を最もよく利用する駅としており、駅までの移動は自動車の移動が約7割となっている。
- ・日常的な移動手段においても、約85%が自動車を利用すると回答しており、自動車依存度の高い状況にある。一方、普段公共交通を利用して外出しないと回答する人の割合も高い状況にあり、その理由として「自動車等の移動の方が便利」という理由が過半数を占めている。

本調査結果等を基に、社会情勢、地域の状況を踏まえた分析を行います。